

(2026年2月27日発表)

3月4日 文化財を立体で残す最新 3D 技術体験ワークショップ

登呂博物館協議会委員を務める静岡大学情報学部村野正景(むらの まさかげ)准教授の発案により、株式会社ニコンの技術協力を受けて、収蔵資料を3D モデル化する3D スキャンや、神楽など無形文化財を360度撮影して「動きごとその場を3D データ化」するポリュメトリックビデオの実演と体験を行います。

【趣旨・背景】

登呂博物館では、収蔵資料等の3次元データ化を進めています。3次元データ化の機運を高めるため、県内の文化財関係者や文化財関連団体(40名程度)を対象とした出土品や無形民俗文化財の3次元データ化に関するワークショップを開催します。

【日時・会場】

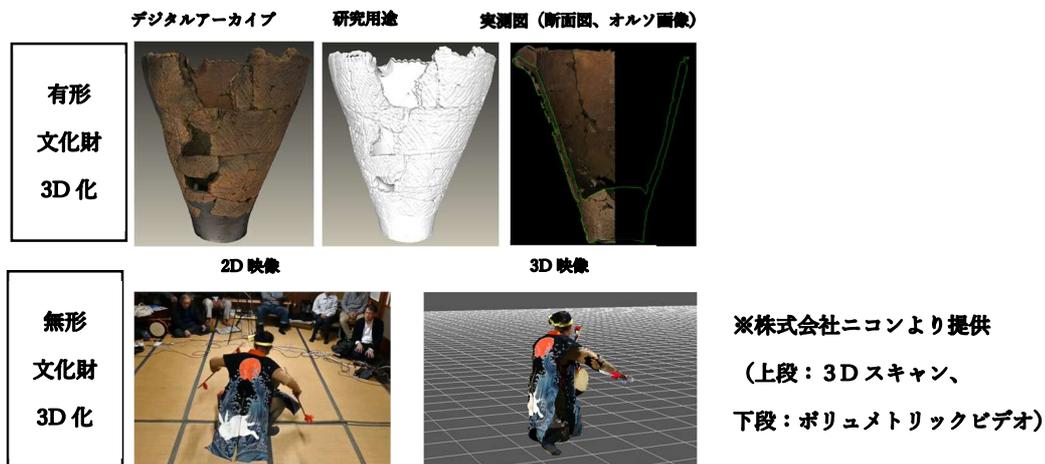
2026年3月4日(水曜日) 10時~12時

静岡市立登呂博物館(駿河区登呂五丁目10番5号)

【開催概要】

ワークショップでは、考古資料や民俗資料を3D モデル化する3D スキャンの実演ほか、神楽など無形文化財を360度撮影して「動きごとその場を3D データ化」するポリュメトリックビデオの実演をします。

【写真】



【取材について】

お車でお越しの場合は、博物館入口前の関係者駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

観光交流文化局歴史文化課登呂博物館(駿河区登呂五丁目10番5号)

担当者:松原、渡邊 電話:054-285-0476